

当院では、安定した薬物治療を提供するために、一般名処方を導入しています

現在、様々な理由で多くの医薬品が入手しにくい状況が続いています。

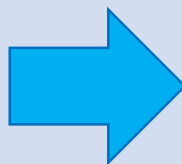
一般名処方をする事で、保険調剤薬局において、銘柄によらず調剤でき、安定した薬物治療を提供することができます。

一般名処方のイメージ

銘柄名処方

原則、当該銘柄を用いて調剤

●●●錠 20mg 2錠
(銘柄名＋剤形＋含量)
1日2回 朝食後・就寝前 ●日分



一般名処方

有効成分が同一であれば、
どの後発医薬品も調剤可能

【般】ファモチジン錠 20mg 2錠
(一般的名称＋剤形＋含量)
1日2回 朝食後・就寝前 ●日分

鈴鹿回生病院附属クリニック 院長